

## HPVとは

ヒト乳頭腫ウイルス（Human Papilloma Virus）の略で、現在までに100種類以上が確認されています。そのうち性器周辺に感染するウイルスは、40種類あるといわれています。

### ○ 感染経路

HPVの感染は主に性交渉中に粘膜に生じた小さな傷からウイルスが侵入することにより起こります。性行為の経験がある約80%の女性が50歳までに一度は感染すると言われるほど、ありふれたウイルスです。

一般に性感染症の予防にはコンドームが推奨されていますが、HPVは男性の陰茎、陰囊、肛門周囲、女性の外陰部・肛門周囲など広い範囲に存在しているので、コンドームだけで十分な予防をすることは不可能です。

### ○ ハイリスク HPV

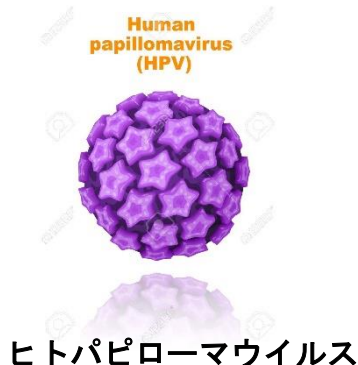
HPVはがんになるリスクとの関連から、低リスク型と高リスク型に分けられます。100種類以上の型があるHPVの中で、15種類程度が高リスク型に分類されます。この型の違いにより引き起こす疾患が異なります。

子宮頸がんの約65%は、高リスク型に分類されるHPV16型、18型が原因です。

HPV16型、18型による感染は、他のリスク型による感染に比べてがんの進行が早いといわれています。子宮頸がんのうち、20代の90%、30代の75.9%でHPV16型、18型の感染が確認されています。

ハイリスク HPVに感染したとしても90%の女性は自己の免疫力で自然排出されます。しかし、長い間感染が続いた場合、細胞が少しずつがん細胞へと変化していくことがあります。

ヒトパピローマウイルス (HPV) には  
**100種類以上**の「型」があります



がんを引き起こす可能性がある  
ヒトパピローマウイルス (HPV)  
高リスク型  
子宮頸がんの原因となる HPV の代表

**HPV16型**  
**HPV18型**